



平成 25 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号:大証JASDAQ2134)
問 合 先 経営管理本部 本部長代理 桐島 悠爾
(TEL. 06-6205-5611)
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

特別損失(減損損失)の計上および平成25年3月期通期連結業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、平成25年3月期決算において、下記のとおり特別損失を計上するとともに、平成25年2月14日に公表をいたしました平成25年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じますので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

減損損失 71百万円(第4四半期計上額)

第3四半期において、収益性が低下した賃貸用不動産等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として361百万円特別損失に計上いたしましたが、将来の回収可能価額を精査しました結果、第4四半期において更に71百万円計上しました。この結果、当連結会計年度における減損損失は、432百万円となります。

2. 通期連結業績予想との差異

(1) 平成25年3月期通期連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)との差異

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 25 年 2 月 14 日)	1,180	△ 174	△ 202	△ 1,321	円 銭 △ 22,361.19
実績(B)	1,126	△ 230	△ 275	△ 1,466	円 銭 △ 24,813.03
増減額(B-A)	△ 54	△ 56	△ 73	△ 145	円 銭 —
増減率(%)	△ 4.6	—	—	—	円 銭 —
(ご参考) 前期実績(平成 24 年3月期)	1,391	△ 206	△ 262	△ 392	円 銭 △ 6,648.26



(2) 差異の理由

売上高につきましては、次期以降の将来の収益につながる成果をあげることはできたものの、第4四半期において予定していた売上を計上できなかった結果、前回発表予想を下回ることとなりました。営業利益および経常利益につきましては、第4四半期において、営業外費用として貸倒引当金繰入額等を計上した結果等により、前回発表予想を下回ることとなりました。

当期純利益につきましては、第3四半期までに1,127百万円の特別損失を計上していたことに加え、当第4四半期において特別損失として減損損失等を計上したこと等により、前回発表予想を下回ることとなりました。

以 上